

社長	事務長	報告者
		

【 掛川電気引込工事センター 月次報告書 】

期間：平成31年 2月1日～2月28日

●伝票付託枚数 中部電力(株) ⇒ センター

	掛川営業所	磐田営業所	計
寺井電機	315	0	315
浜電工業(株)	216	36	252
(有)中泉電気工業	0	373	373
計	531	409	940

●協力工事店へのスイッチング工事 付託枚数 ※上記に含まず

	掛川営業所	磐田営業所	計
(有)竜東電気工事商会	0	39	39
計	0	39	39

協力工事店へのスイッチング工事発注に関して透明性・公平性が欠如している問題については、センター会議にて議論する。

●竣工実績(施工件数)

	引込線工事	計器工事	スイッチング工事	点検・改修工事	計
寺井電機(株)	218	75	56	58	407
浜電工業(株)	179	71	32	0	282
(有)中泉電気工業	197	85	5	0	287
計	594	231	93	58	976

●手直票の発行状況

寺井電機(株)
浜電工業(株)
(有)中泉電気工業

} ありませんでした。

●クレーム、その他

ありませんでした。

社長	事務長
	

【 議 事 録 】

作成者： 小野 
 作成日： 2019年3月8日

会議名	センター会議
開催日時	2019年2月15日(金) 16:05～17:25
場所	掛川電気会館 2階会議室
出席者 (計7名)	中部電力 : 掛川営業所配電建設課 佐藤主任 直営班 : 浜電工業(沖祥博さん) 中泉電気(寺井将晃さん) センター : 鈴木社長、河原崎常務、小野田さん、小野
欠席者 (計1名)	直営班 : 寺井電機(寺井会長)

議題1: 引込線点検改修工事の予算について

◆中部電力(株)掛川営業所配電建設課 佐藤主任より、来年度の予算について報告を受けた。

(今年度)

- ・掛川センターとして実績が伸びない(点検が多い)ことから、500条分の予算を他センター(清水、藤枝)に応援依頼し、あと残り600条を目指している。寺井電機にて意欲的に取り組んでおり、順調に推移している。
- ・掛川センターでは約半数が張替え不要(点検のみ)で実績に結び付かないが、他センターではおよそ7～8割を張替えており実績が伸びている。

(来年度)

- ・掛川センターの予算:1543条(掛川営業所:888条、磐田営業所:655条)
- ・掛川営業所の予算888条を、寺井電機(株)と浜電工業(株)で分配する。
⇒(後日、寺井電機(株)、浜電工業(株)了承のもと、寺井電機(株)700条、浜電工業(株)188条で決定した。
配分は今年度の張替え実績・取組状況等を踏まえた上で決定。
今年度実績(2月時点) 寺井電機(株):680条、 浜電工業(株):40条
- ・3社での予算分配は伝票を作る為の暫定であり、最終的に不足分を3社でカバーし合って予算達成出来るようにしたい。

※直営班より

- ・点検のみが多く実績が伸びない点については場所によって大きく違い、出向しても既に手が入っていて付近がほぼ張替えられている地域もあるし、全く手が入っておらず電線がボロボロの地域もある。
- ・張替えが必要な地域に心当たりがあればその地域で伝票を作成してもらいたいが、その地域に見当が見つからない。
- ・可能性として、掛川センターと他センターでは張替えの基準が異なるのではないかと。キズや劣化ランクの判定について、再度中部電力と確認したい。

- ・張替えの実績を延ばす方法として、“劣化判定B”を全て張替えるならば、多少の実績増加に繋がるかもしれない。

⇒中部電力(株)にて検討する。(佐藤主任)

※佐藤主任より

- ・劣化張替えの基準見直しについては、検討したい。
- ・来年度は計画的に実績を上げられるよう、センターと毎月実績を確認しながら調整をとっていく。

(佐藤主任 退出)

議題 2:安全パトロール実施結果について

◆センター小野田さんより、実施した現場パトロールの結果を報告し、出席者全員で共有した。

①1月11日 寺井電機(株)

- ・接続の際、「締付よし」「黒線接続します」等の呼称が不足していた。

②1月18日 浜電工業(株)

- ・公衆保安が確実にされていた。
- ・交通誘導警備員が、引込作業を見てしまっていた。

③1月25日 (有)中泉電気工業

- ・危険ポイントは具体的に指示すると良い。「注意するように」ではなく、どう注意するのか指示すること。
- ・当日は風が強い日だったが、ロープが舞わないように措置をとって良かった。

議題 3:共有化情報(パンザーマスト柱の傾斜について)

◆センター鈴木社長より、中部電力(株)管内で発生したパンザー柱の傾斜について、別紙資料に基づき報告した。

(鈴木社長より)パンザー柱は少し地面を掘って確認しないとわからない。地際点検は確実に実施し安全作業に努めるよう、従業員へ周知すること。

議題 4:センター事務局より周知事項

◆センター小野より、下記(1)～(3)について直営班へ周知し、(4)について直営班へ確認をした。

(1)TS機能付きスマートメーターと電磁接触器の施工について

- ・中泉電気が出向した現場で、機械式計器をTS機能付きスマートメーターへ取り替える工事があった。現場には電磁接触器があり、電磁接触器の中の配線改造が必要だと判明し、申込工事店が行なう施工範囲と思い中部電力(株)磐田営業所へ問い合わせたところ、引込センターの施工範囲であると指示を受けた。電磁接触器がある現場は珍しく、他の直営班でも起こりうることから、今後の参考として情報共有した。

(2)「スイッチング申込みに伴う計器工事に関する留意事項について(お願い)」

中部電力(株)より、スイッチング工事の際、お客様に対して「特定の新電力へ変更すると不都合が生じるのではないか」という説明をした事例があったとのこと。

電気事業法に抵触する可能性がある為、十分注意するよう通達した。

(3)内外電機(株)製の屋外用計器箱 S・M・L 型の仕様変更品導入について

別紙資料を配布し、周知しました。

⇒上記 3 点について浜電工業(株)、(有)中泉電気工業ともに了承した。(寺井電機(株)は欠席の為、後日承認をとる。)

(4)直営班の人数について

直営班の人数の最新状況(入社および退社予定)を確認した。

浜電工業(株)・・・現状 5 名、今後 2 名増加する計画あり。

(有)中泉電気工業・・・現状 5 名、3 月に 1 名入社予定あり。

寺井電機(株)については欠席につき、後日確認する。

次回センター会議 :平成 31 年 3 月 15 日(金) 16:00 開始

上記内容について、株式会社掛川電気引込工事センター直営班の了解を得られました。

寺井電機株式会社 代表取締役会長 寺井 道雄 ㊟

浜電工業株式会社 代表取締役 松田 良克 (代理) 沖 祥博 ㊟

有限会社中泉電気工業 代表取締役社長 寺井 邦夫 (代理)寺井 将晃 ㊟



2019年度 引込線点検改修工事数について

1 全社大の工事数設定の考え方

2019年度の配電部門工事予算は、より一層のコストダウンを織り込んだ挑戦的な予算を編成しております。そのため、設備劣化によるリスク評価を基に、引込線点検改修工事（トーネック施工分）については、2018年度対比で85%の削減といたしました。

一方、引込線点検改修工事（各電気引込工事センター施工分）については、需要増加工事による業務量変動の平準化を目的として、引き続き、一定数量の工事数を確保するものとし、2018年度対比で5%の増加といたしました。

2 支社別 引込線点検改修工事数

2019年度の支社別の引込線点検改修工事数^{※1}は、下表のとおり設定いたしました。

[条]

	名古屋	静岡	三重	岐阜	長野	岡崎	全社計
2018年度	0	11,269	8,552	2,458	5,311	4,985	32,575
2019年度	3,100	7,562	6,602	3,018	7,540	6,399	34,221
増減	+3,100	▲3,707	▲1,950	+560	+2,229	+1,414	+1,646
2019年度 配分割合 ^{※2}	9%	22%	19%	9%	22%	19%	100%

※1 3-08（電灯）のみ記載。3-09（動力）は3-08の工事数の5%程度を想定。

※2 配分は、需要増加工事の実績平均値に対し、各月の実績工事量が減となる工事量の合計（別紙の網掛け部分）により按分。
名古屋支社および岡崎支社は、専任班体制の一部運用開始に伴い、工事数が増加。

3 静岡県電気工事協力会における電気引込工事センター別 引込線点検改修工事数

2019年度の電気工事引込センター別の引込線点検改修工事数は、下表のとおり設定いたしました。なお、電気引込工事センターごとの工事数の配分は、上記2と同様の考え方に基づき配分いたしました。

[条]

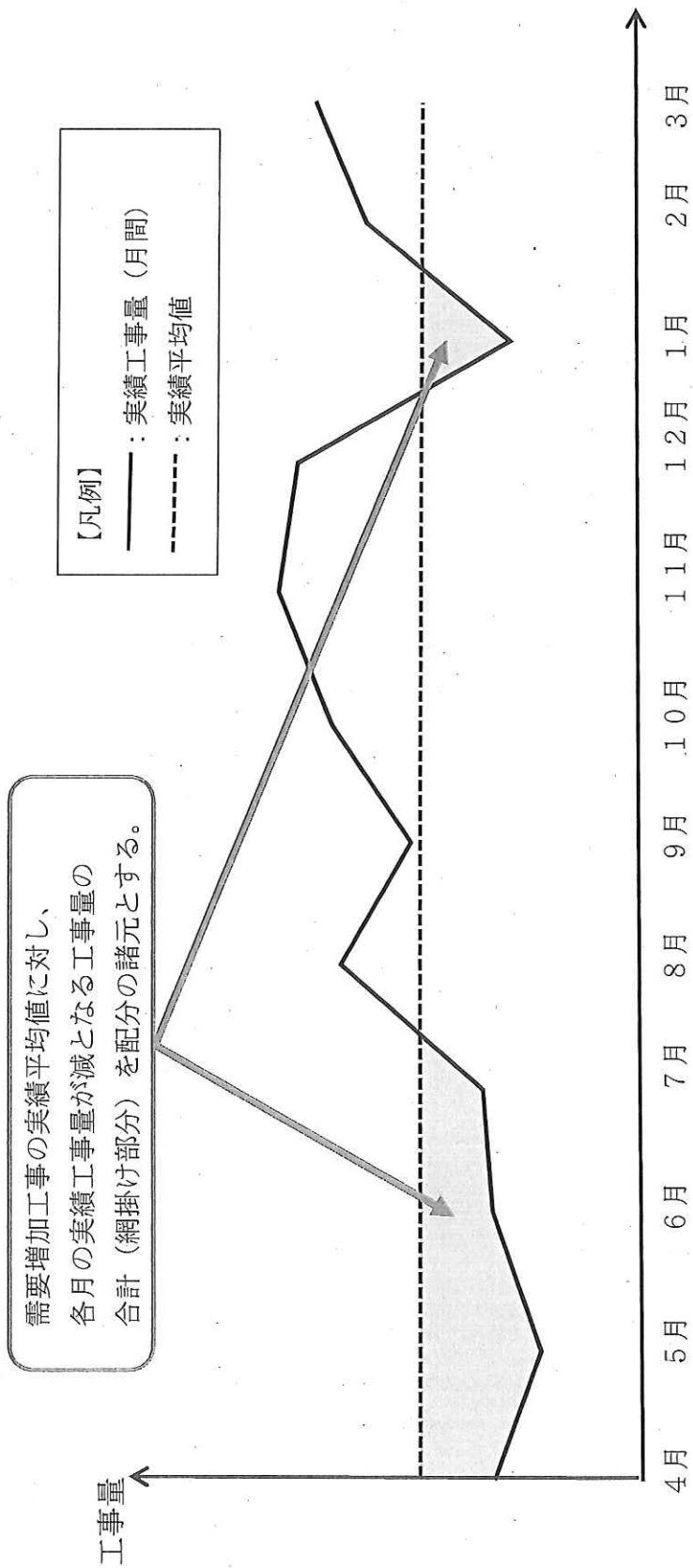
	静岡	清水	藤枝	浜松	掛川	県計
2018年度	2,300	848	3,401	2,994	1,726	11,269
2019年度	1,346	753	1,341	2,579	1,543	7,562
増減	▲954	▲95	▲2,060	▲415	▲183	▲3,707
2019年度 配分割合	18%	10%	18%	34%	20%	100%
出来高実績割 合(至近2年)	17.5%	9.5%	18.5%	34.5%	20.0%	100%

4 参考資料

別紙 支社別配分の諸元算出の考え方（イメージ図）

支社別配分の諸元算出の考え方

○電気工事引込センターごとの年間工事量の算定イメージ



社長	承認	担当	作成者
			

【 (株)掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成 31 年 1 月 11 日 (金)
実施時間	9 : 0 0 ~ 1 1 : 3 0
現場住所	掛川市倉見
引込柱	0 4 ア 3 9 2
直営班 (会社名)	寺井電機(株)
現場作業人名	市川 俊 水野 昌彦 藤本 久夫 太田 陸斗 水野
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 梯子の使用時には転倒防止処置の梯子固定が終わるまで下でささえ転倒防止を図ること。 2. 安全呼称・品質呼称が不足している。 3. 公衆保安処置は良く施されていた。 4. 新設電線が 1 0 0 × 3 で取付方法に良く打ち合わせされて、効率的に作業を進めている。

※現場写真は別紙参照



1. 公衆保安対策も良くできている。



1. 梯子の上部固定完了まで下部で支えて転倒防止を図る。




社長	承認	担当	作成者
			

【 (株)掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成31年1月11日(金)
実施時間	11:40~12:10
現場住所 引込柱	掛川市城北 01ナ079
直営班(会社名)	寺井電機(株)
現場作業者名	市川 俊 水野 昌彦 藤本 久夫 太田 陸斗 水野
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業打ち合わせは作業内容・手順・人員配置と適切に行われていた。 2. 若い社員に柱上作業を習得させるために、先輩社員が付き添い指導をして育成に努めていた。

※現場写真は別紙参照

社長	承認	担当	作成者
			

【 (株)掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克





実施年月日	平成31年 1月18日
実施時間	9:00~10:30
現場住所 引込柱	御前崎市池新田2810-21 63サ902
直営班(会社名)	浜電工業(株)
現場作業員名	加茂 厚作 松浦 俊行
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接続作業時に自問・自答を行い接続の良質工事に努めて貰いたい 2. 高所作業時の補助ロープの使用は適切であった。 3. 作業前の設備に対する、各所検電を行い安全作業に努めている。

※現場写真は別紙参照



63サ902

公衆保安対策が良く取れている。

社長	承認	担当	作成者
			

【 (株)掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成31年 1月18日
実施時間	11:30~12:00
現場住所	袋井市浅名
引込柱	56フ162
直営班(会社名)	浜電工業(株)
現場作業員名	加茂 厚作 松浦 俊行
パトロール者所見	<p>1. 現地到着後、現場確認を行い打ち合わせを行い、作業位置に合わせた高所作業車の移動を行い安全作業に努めている。</p> <p>2. 支持点側・柱上側の接続時に呼称・応答を行い良質工事に努めていた。</p> <p>3. 警備員は現場の状況を判断しカラーコーンの設置を手伝いことなく交通誘導に専念すること。</p>

※現場写真は別紙参照



1. 流出部分の防護を事前に取り付して感電防止に努めている。

社長	承認	担当	作成者
			

【 (株) 掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成31年 1月25日 (金)
実施時間	9:30~10:50
現場住所 引込柱	磐田市西之島 57△871
直営班 (会社名)	(有)中泉電気工業
現場作業者名	寺井将晃 遠藤 智 岡田和久 武藤智
パトロール者所見	<p>1. TBM-KYは作業内容・人員配置・危険ポイント・手順は説明をしていたが、危険ポイントで高圧接近注意の指示を出していたが、具体的に接近に対する対策を出していただくと、より向上したTBMになると思います。(別紙写真参考)</p> <p>2. 作業直下付近に歩行者通行時に監督者が柱上者に声をかけ注意喚起をして安全作業に努めていた。</p> <p>3. 通いロープが強風に飛ばされないようにロープ先端部に仮の重りを取り付けて強風対策をとっていた。</p> <p>4. 解線作業時には電線の識別確認と声だし確認と監視者の相互確認を行い誤解線防止に努めていた。</p>





※現場写真は別紙参照



平成31年1月25日

57△871

高圧線接近防止対策でバケツト使用で接近防止を図っている。

社長	承認	担当	作成者
			

【 (株)掛川電気引込工事センター 安全パトロール巡回記録 】

作成者： 小野田 多克

実施年月日	平成31年 1月25日 (金)
実施時間	11:30~12:30
現場住所 引込柱	磐田市西平松 60ヨ111
直営班 (会社名)	(有)中泉電気工業
現場作業者名	寺井将晃 遠藤 智 岡田和久 武藤智
パトロール者所見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2連梯子使用転倒防止又柱上での補助フック使用も適切に実施している。 2. 車体アース線跳ね上がり防止対策が良くできている。 3. 公衆保安処置は非常に良くできている。 4. 電線の地上高・他物離隔は確実に測定具を使用をして確認をいっている。

※現場写真は別紙参照



平成31年1月25日

60ヨ111

1、転倒防止処置は良くできている。



平成31年1月25日

60ヨ111

1. ブームを道路横断させているが、打ち合わせ時にガードマンに指示を出して大型車両が通行時には注意喚起を図る。